

環日本海の自然展示概要

島根の自然界は日本海の地質的・生物学的歴史に深くかかわっている。このホールの展示は、海の形成、古代生物の形態、現代の生態学のいくつかの面に焦点を当てている。

日本海は、まだ日本がユーラシア超大陸の一部だった約 2,500 万年前に形成された。火山活動と構造的転換により大陸の最東端が引き離され、間の土地が沈み、湖の底となった。継続的に引き伸ばされ、海水が低い地点から南北へと溢れ、湖は海になった。

この展示には、グリーンタフという火山灰と火山礫が圧縮されてできた緑色の多孔質火山岩や、海洋環境で形成される炭酸カルシウムが結晶化したアルゴナイト（アラレ石）、また沢山の海洋生物の化石など、様々な海の形成段階の岩や鉱物の標本がある。化石には小さな貝から、カバによく似たデスモスチルスやアシカのようなアロデスムスなどの大きな水生生物の骨格までがある。「リャンコ大王」という、現在この地域で絶滅した種であるニホンアシカ（オス・成獣）のはく製も展示されている。